



## 後期前半終了～2025年を締めくくる～

4月の入学式から、あっという間に2025年の年末を迎えました。普段の授業だけでなく、運動会や文化祭などの行事や部活動などで2年生や3年生の先輩方とも関わりあいながら、いろいろなことを経験したり、挑戦したりしました。時には失敗したり、悩んだり、うまくいくことばかりではなかったと思います。多くの人と関わり合いながら、活動することで自分を成長させることができると思います。2026年がさらに成長できる年になるように、4月から今までの生活をしっかりと振り返りましょう。

## 1月の主な予定

1月は本校入試や3年生の進路懇談の関係で短縮授業になったり、完全下校の時刻がまちまちになっていたりしています。また、水曜日以外で部活動がない日も多くあります。下の予定表に完全下校が明記されていない日の完全下校は17:15で、部活動については、水曜日と部活動なしと明記されている日は部活動はありません。いつもより早く帰宅する日が多くなっています。

日	曜日	予定	日	曜日	予定
9	金	授業開始日 実力テスト②	21	水	午前短縮5限 完全下校 14:40
13	火	短縮6限 完全下校 16:35	22	木	午前短縮6限 完全下校 16:45
14	水	本校入試前日準備 平常3限 完全下校 13:05	23	金	午前短縮6限 完全下校 16:45
15	木	本校入試による臨時休業	26	月	短縮6限 学級会 部活なし 完全下校 15:35
16	金	短縮4限 部活なし 完全下校 13:05	28	水	平常5限 完全下校 15:15

## 1月9日(金)の日程と持ち物

### <日程>

- 1限 全校集会
- 2限～6限 実力テスト
- 部活動あり 完全下校 17:15

### <持ち物>

- ・朝読書用の本
- ・冬休み中の課題
- ・弁当
- ・冬休みの生活記録
- ・雑巾1枚
- ・マスク(必要に応じて)

## 確認～弁当～

12月22日(月)より給食が提供されず、弁当を持ってくるようになっていきます。保護者の皆様におかれましては、弁当の準備などで大変お世話になっています。

さて、給食から弁当となったことで、次のようなことを生徒に確認しています。給食から弁当になったとはいえ、学校での食事になります。何でもありというわけではないと思います。お互いが気持ちよく食事できる環境を整えてほしいと思います。保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

- \*おかずを交換したり、あげたりしない。(アレルギーなどの危険性もあるため)
- \*デザートを持ってくる場合は、常識の範囲内で持ってくる。
- \*自分で食べきれぬ量を持ってくる。

## 2025 年を振り返って～今年の漢字～

12 月 12 日(木)に京都の清水寺で今年の漢字が発表されました。2025 年の今年の漢字は「熊」です。そこで、1 年生のみんなにも、4 月から 12 月までの生活を振り返って、どんな 1 年だったのかを漢字一字を表してもらいました。

新	<ul style="list-style-type: none"><li>・新しい生活になったり、新しい友だちができて今年は新しいことがたくさんあった年で個人的に新しいことに一步踏み出せたと思ったから。</li><li>・新しい環境、友だち、今年は新しいものばかりに出会えたから。新しい出会いがあったからこそ、とても楽しい 1 年にできた。</li><li>・新しい出会い、新しい出来事など、新しいことがたくさんあった 1 年間だったから、新を選んだ。さらに今後も新しいことにどんどん挑戦してきたいから。</li><li>・小学校から中学校に上がって、勉強や普段の生活、人間関係が新しくなって、自分のできることが増えて、新しい自分にもなれたからです。</li></ul>
楽	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学校に入って、新しいことばかりで不安もありましたが、楽しんで過ごせた一年だと感じました。また、家でも新しい趣味を見つけ、毎日楽しく過ごしたから。</li><li>・楽しいことがたくさんあったからです。運動会・文化祭などは、先輩と協力したり歌を頑張ったりして楽しかったです。部活でも、友だちがたくさんできてとても楽しい一年でした。</li></ul>
初	<ul style="list-style-type: none"><li>・初めての中学校や部活、汽車での登校など「初めて」がたくさんあったので、この字にしました。分からないことが多くて、大変だったけれど、教えてもらったり考えたりして乗りこえたと思います。</li><li>・入学してからは、初めてのことが多く、日を重ねるごとに運動会、文化祭などの初めてのことがたくさん増えました。文化祭では、思い切って伴奏することができて良いスタートがきれたと思います。部活動も初めてのことが多くてすごく楽しいです。</li></ul>
変	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学校に入って、運動面も勉強面も生活面も全てが変わりました。まったく分からないことにぶつかることが増え、チャレンジになった年でもあると思います。これからいろんなことがどんどん変化していくと思うので、それについていけるように頑張りたいです。</li><li>・新しい環境に変わって大変なこともたくさんあったけど、行事を通してみんなとの絆が深まったり、仲良くなれたりして、クラスも自分も大きく変わったから。</li></ul>
笑	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学に入学して、最初は少し不安もあったけど、毎日とても楽しかったです。友だちとの会話だったり、行事だったり、帰りの時、友だちと笑い合ったりして、去年より笑顔が増えたと思います。</li><li>・とても楽しく常に笑顔でみんなといわれたから。不安でいっぱいだった 4 月からでは考えられないほど、毎日が楽しく笑顔があふれた 1 年間だったと思います。来年も笑顔を絶やさず、楽しかったと思えるような 1 年生のしめくくりをしていきたいです。</li></ul>
学	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学校に入って定期テストなど、初めての経験がたくさんあり、その行事などの 1 つ 1 つを学んでいったからです。</li><li>・中学一年生となって、行事を通して仲間と協力することを学んだり、新しい教科をたくさん学習したりした一年だったと思ったからです。</li></ul>
挑	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学生になって、初めてのことでしかなかったけど、どんな事にも、挑戦してきたからです。また、挑戦することの大切さを知った年だったからです。</li><li>・勉強にも部活にも何事にも挑戦することができたからです。また、後期には室長に立候補するという、これまでの私には考えられないような挑戦があったからです。挑む楽しさや感動も得られて良かったです。</li></ul>

早	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に入学して、あっという間に12月。年が明け少し学校に行ったら、2年生になるので、1年がとても早かったので、「早」にしました。</li> <li>・学校に行くために、起きるのが早くなり朝早く勉強するようになったし、時間が過ぎるのが6年生の時よりも早いと感ずることが多かったからです。</li> </ul>
晴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ確実に自分が良い方にすすんでいる気がします。全国大会に出れたり、技が上手になったりとちょっとずつ晴れてきたと思います。少しずつ晴れてきた年だと思うから。</li> <li>・小学校の頃と比べて、自分は学習意欲が高まりました。それによって自分の心が晴れようになりました。</li> </ul>
努	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の努力が大事、テストの期間しか勉強で努力していなかったから、テストはよくありませんでした。だから、日々の努力があらためて大事だと実感しました。</li> </ul>
米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の時より弁当の米が多くなった。あと、アメリカの大統領がトランプになった。米津さんの曲がめっちゃ再生されていた。</li> <li>・家では毎朝米を食べていたが、高くてパンにかわったから。スーパーに行くとお米が1つもなかったから。</li> </ul>
忙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学してから今まで、新しいことを経験し、挑戦しました。学ぶことがたくさんあり、たくさんの役割を果たしました。そんな中で1日1日がものすごいはやさですぎていき、気付いたらもう12月でした。それは1日1日が充実していたということなので、この漢字にしました。</li> </ul>
難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校ではうまくいかないことが多く、難しいことがあったから。</li> <li>・授業の内容が難しくなったりしたからです。時間がなくなり、遊んだりする時間をつくるのが難しくなったからです。</li> </ul>
疲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの課題におわれたり、胃腸炎・インフルになったり、日々の家庭生活でも忙しかったから。</li> </ul>
仲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの仲の良い友だちを作ったり、仲の良い友だちと遊んだり、話したりしたから。</li> <li>・中学校に入ってから、友だちができるか心配だったけど、行事などでみんなとの仲が深まり、部活を通して、先輩との仲も深まっていった一年になったと感じたから。</li> </ul>
動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年間とは違う環境になったから「動」なのと、今年は夏休みも部活がほとんど毎日あったから「動」。</li> <li>・小学校の頃にはなかった部活というものに初めて入ってたくさん運動したり、集団で生活する中で、自分が今、何をしなければいけないかを考えながら行動することを心がけたから。</li> </ul>
友	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちができるか心配だったけどお話をしていくにつれて仲良くなれたから。また、友だちと支えあったり、おしゃべりをしながら毎日楽しい一日を過ごすことができたから。</li> <li>・友だちができて嬉しかった。</li> </ul>
試	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての試みがあったから。試合で2アシストをしたから。</li> <li>・今年は試合がいっぱいあったから。試合で点を決めたから。</li> </ul>
音	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は自分の好きな音楽に没頭してずっと音楽と過ごしたと思っています。また、附中に入学し、小学校のころは知らない友だちと話し、自分なりの色を出すことができたと感じます。私の音を出すだけでなく、友だちの音も感じ、より世界が広くなりました。</li> </ul>

その他には、「濃」「列」「義」「習」「多」「課」「政」「機」「芽」「会」「激」「負」「秒」「責」「推」「鰈」「績」「絆」「進」「迷」「起」「結」「走」「鮮」「選」「詔」「成」「勉」「急」「歌」「企」「充」「金」「経」「夢」「部」「全」「汽」「問」「一」「色」という漢字を選んでいました。

## 一年の計は元旦にあり

「一年の計は元旦にあり」ということわざは新年によく聞きます。1年間の目標や計画は、元旦に決めるのが良いということや、何事も最初に計画や準備が大切であり、初めの計画ができていないと物事はうまくいかないという意味のことわざです。このことわざには、2つの有力な説があり、さらには、このことわざには続きがありました。

まず1つ目の説です。毛利元就(現在の広島県西部)の戦国武将でした。傑出した戦略家・謀略家で戦国時代最高の智将とも言われています。その毛利元就が言った言葉がこれです。

「一年の計は元旦にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、  
一日の計は鶏鳴(一番鶏が鳴く早朝)にあり。」

毛利元就は、何事にも最初が肝心であるということを用意したといえます。この言葉について次のような逸話があるようです。毛利元就の家臣が元旦の朝に、祝いの膳を食べるように毛利元就に促したところ、毛利元就は黙って席を立てて去ってしまい、しばらくしてその家臣を呼び出して、「なぜ元旦を祝うのか？」と尋ねたそうです。答えることができない家臣に向かって、毛利元就はこう答えたそうです。

「世の愚か者どもは、恵方を拝んで、とそを飲み、長寿・子孫繁栄を祝って浮かれているが、元旦はそんなのきななものではなく、年の初めに一年の事をじっくりと考える。それが本当の祝いというものである。」

戦国時代最高の智将と言われた毛利元就ならではの元旦の祝い方だと思います。さすがだなあと思うと同時に、並大抵の考え方ではないなあと思いました。

2つ目の説は、中国の「月令広義(げつりょうこうぎ)」という書物に中国の伝統的な年中行事、儀式、しきたりなどを解説した書物があります。「花咲かじいさん」の原典の一つと考えられている書物でもあるようです。その中に四計(しけい)というものがあり、それが次のものです。

一日之計在晨(一日の計は晨(あした)にあり)

一年之計在春(一年の計は春にあり)

一生之計在勤(一生の計は勤にあり)

一家之計在身(一家の計は身にあり)

晨(あした)・・・朝という意味  
春・・・中国の暦でいう正月

というものです。この中の2番目の「一年之計在春(一年の計は春にあり)」を「一年の計は元旦にあり」といったという説です。1・2番目までであれば、毛利元就の説とはそんなに違いはありません。さらにこの説の「一年の計は元旦にあり」には続きがありというのは、四計の3・4番目のことをいっているようです。

一生之計在勤 → **まじめに努力することで人生が決まる**

一家之計在身 → **身の振り方や生き方で一家の将来が決まる**

という意味だそうです。確かにその通りだなと思いました。

「一年の計は元旦にあり」を毛利元就は、元旦の祝いは年の初めに一年の事をじっくり考えることをいい、中国の「月令広義」では、さらに「一生の計は勤にあり」「一家の計は身にあり」と続けています。この由来や意味を知ると感慨深い気持ちになりました。

一年の始まりという節目は心新たに新しい目標や計画を立てるのに最適な時です。是非、元旦の朝に家族で新年の目標に関する会話をしてみてもはどうでしょうか？

それでは、よいお年をお迎えください。



毛利元就像(毛利博物館)